

令和5年度 公益社団法人益田市医師会 事業計画

中長期計画（実施計画）について

1 在宅を中心とした安心して住める環境づくり			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	05	06	07	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
1-1 社会保障制度の流れと地域の特性、ニーズに対応したシステムの整備・推進	①情報の収集・調査分析	a.国・県・市町村・日本医師会等情報の収集と調査・分析	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.収集した情報について医師会として共有し、対応（方針）について検討する 【重点事項】 ①診療報酬改定・介護報酬改定（令和6年度～） ②第8次島根県保健医療計画（令和6年度～）（5疾病・6事業） ③第3次健康増進計画（健康長寿しまね）（令和6年度～） ④第9期益田市介護保険事業計画（えっとまめなプラン）（令和6年度～） ⑤医師の働き方改革への対応（令和6年度～） ⑥地域医療構想への更なる検討（～令和7年） 【統括部】 1.診療報酬の改定情報を注視し、早期に対策を検討する	1.令和6年度 医療・介護 W 改定（診療報酬・介護報酬同時改定） 2.令和6年度 第8次医療計画 ・地域医療構想及び医師確保 ・外来機能報告 ・在宅医療及び医療・介護連携 ・救急・災害医療提供体制 ・5疾病+新興感染症 等 3.令和6年度 第9期益田市介護保険事業計画（えっとまめなプラン） 4.医師の働き方改革への対応（R6.4月から） 5.第4期医療費適正化計画（案）（R7～R12年度） 6.R7年度以降「新たな地域医療構想」の検討 7.医療法人の経営情報データベース化	1.第8期益田市介護保険事業計画（えっとまめなプラン）の内容の検証 ・生きがい活動の推進、外出支援等、「地域に貢献する活動」の実現のための検討 2.令和6年度介護報酬改定の情報収集
	②少子高齢化社会に対応した医師会独自の地域医療・介護の体制づくり ・「地域包括ケアシステム」の推進 ・地域完結型社会の構築 ・地域医療、在宅医療への新たな対応	a.地域のニーズの把握	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.社会構造の変化に伴う地域のニーズについて、圏域内の諸会議を通じて把握・共有する 【統括部】 1.統括部の各事業所から現場意見を集約し、ニーズを把握する 2.地域の関連事業所、地域住民のニーズを収集する 3.要介護認定者、生活困窮者が増加する半面、居宅介護支援者、サービス提供事業所の減少の中で支える仕組みの検討	※国が考える2040年問題に対し、島根県及び益田市ではすでに現実となっている。 1.生産年齢人口の減少に対するマンパワー確保 2.人口減少地域における医療機能の維持・確保や医師をはじめとした働き方改革への対応 3.超高齢化・人口減少による入院・外来医療ニーズの変化 4.医療介護複合ニーズ・看取りニーズの増加 5.緩和ケア体制の構築 6.在宅療養後方支援病院の継続 7.訪問診療体制の検討・構築 8.へき地巡回診療継続、診療支援体制の検討	
	b.先進事例等の調査と検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.先進事例等を調査し、地域の医療介護に資する新たな取組を導入する			
c.会員との連携	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.会員と連携し、医師会資源を有効に活用した医療・介護の支援体制の構築に努める 【統括部】 1.会員訪問を継続実施（コロナ等感染状況に応じて対応）し、意見を連携に活かす 2.医療連携推進コーディネーター配置事業の内容を検討し継続				

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)
			05	06	07			
		d.行政等との連携	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1. 医師会業務の明確化を図り、取り巻く状況やニーズの変化に適切に対応した連携を行う 【統括部】 1. 医療連携推進コーディネーター配置事業において、圏域課題解決推進事業、在宅医療介護連携推進事業等、保健所、圏域市町との連携し、効果的に進める		
		e.医師会独自の「医療・介護推進プロジェクト」の推進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1. 「地域包括ケアシステム」への対応(役割)と必要な体制について立案する 2. 地域ケア会議等への参加を通して、医師会施設や活動をPRし利用の促進を図る 3. 「地域医療介護連携統括部」を核とした「医療・介護推進プロジェクト」を重点的に推進する 4. 「在宅医療・介護連携推進事業」の再受託 【統括部】 1. 医療連携推進コーディネーター配置事業において、圏域課題解決推進事業、在宅医療介護連携推進事業等、保健所、圏域市町との連携し、効果的に進める 2. 統括部の各事業所から現場意見を集約する		
		f.地域内完結率の向上	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1. 医師会内の連携強化(統括部内の連携体制の強化、病床カンファレンスの充実、退院支援体制の強化) 2. かかりつけ医との連携強化(在宅療養後方支援病院、機能強化型在宅療養支援診療所の検討) 3. 近隣病院・介護事業所との連携強化(連携会議の開催、定期施設訪問の実施、研修会の開催) 4. 地域住民理解の推進(イベント等でのPR活動の検討) 【統括部】 1. 透析・ターミナル・呼吸器管理・補液のみの患者などを積極的に受入れる。日赤での出張相談は感染状況の時期を見て実施 2. 他圏域の患者の受け入れ方法を検討する。 3. 近隣の慢性期病院にて療養中の圏域内の方の受け入れ促進 萩慈生病院訪問は時期を見て実施		

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)
			05	06	07			
		g.在宅医療を維持するための体制の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.在宅療養後方支援病院の活用を推進する 2.地域密着型サービスや在宅入居への業務進出の検討 3.医療度の高い利用者の在宅支援 4.地域医療事業部(へき地医療を含む)の医師会事業部内での役割の明確化 ・益田市と益田市国民健康保険医療施設 見道川・澄川診療所の今後の管理運営方針案を協議する 【統括部】 1.在宅療養後方支援病院の登録者を増やす 2.在宅医との意見交換会の実施を計画する 3.統括部の各事業所から現場意見を集約する		
		h.へき地医療を維持するための体制の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.へき地での医療拠点確保の検討 ・1-②-gと同じ 2.行政の行う施策に積極的に提言する(公共交通機関の活用、中山間地域住民の集住、巡回型医療体制の確保、住宅地域の改変等の施策)		
	③厚生労働省の進めるデータヘルス改革への対応	a.医療・介護の情報利活用の推進(医療と介護の地域連携システムの導入と運用)	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.情報の共有化システム検討 2.MCS(介護等の連携)、まめネット(医療機関同士の連携)の利用促進	1.医療・介護 DX への対応 2.医療・介護 DX 推進チームの編成	
		b.自身のデータを日常生活につなげる PHR(パーソナル・ヘルス・レコード)の推進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.マイナンバーカードを利用したシステム類の導入 ・オンライン資格確認システム、電子処方箋等の導入、医師資格証の普及	1.スマートヘルス事業への協力 2.PHRと医療機関の連携への情報収集	
		c.医療現場の人手不足や待遇悪化、長時間労働などが大きな問題の解決のための医療介護DX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.医療センター内でのIT化による職員の業務負担を軽減することの支援	1.Ns コール、電子カルテ、医療機器等の連動 2.医療・介護 DX 推進チームの編成	1.山陰パナソニックの実証実験の結果を分析し、効果的な活用を検討する。
		d.医師会及び関連施設へのICTの普及、リスクへの対応や周知	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.会員へサイバーセキュリティの準備及び周知		
2 医療機能再編への対応			計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)
推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	05	06	07			
2-1 地域医療構想 に応じた医療機能 再編に必要な対策 の検討と推進	①「地域医療構想」への 対応	a.「地域医療構想」の検証と対応検討 ・情報の収集と分析	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.「地域医療構想」について、医師会としての対応について検討する	1.令和7年度以降の「地域医療構想」について、病院の対応方針を継続して検討	
		b.病床機能の検証 ・必要な病床機能の検討 ・地域外流出実態の調査	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.圏域内医療実務者会議で圏域内完結率をアップを検討 2.病床稼働率、在院日数、必要度の動向把握	1.病床機能再編の検証、次に備えるデータ蓄積 2.患者・利用者の流れ、Patient Client Flow Management(以下、PCFM)の確立 3.当院で可能な病棟機能の検討・明確化	

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)
			05	06	07			
						3.当該医療機関との情報交換のシステム作り (電話協議を行い、複数の病院から理解は得ている) 4.慢性期病床待機者の把握と当該医療機関訪問 (電話協議を行い、複数の病院から理解は得ている) 5.益田日赤での出張転院相談をコロナ感染状況を見て検討 6.益田日赤との協議において、具体的な協議を重ねる	4.緩和ケア病棟(病床)の設置への検討 5.将来に向けた機能の選別・縮小への検討	
		c.外来医療の機能の明確化・連携(医療法)	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.医療機関に対し、医療資源を重点的に活用する外来等について報告を求める外来機能報告制度の創設等についての分析・検討を開始 2.かかりつけ医機能の明確化	1.外来機能報告への対応	
		d.病床機能ごとの運営方針の検討と策定	⇒	⇒	⇒		※7-2.3.4.5にて	
	②他医療機関との連携と役割分担の検討	a.医療センター内での各病棟・施設との役割分担の検討	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.病床活用カンファレンス、医療・介護連携委員会の活用 2.統括部内で、病棟～老健～在宅間のスムーズな流れの検討を行うとともに、1症例ごとに丁寧に相談・調整を行う	1.PCFMの確立 2.職員に向け、各病棟の役割への理解を深める	
		b.圏域内の他医療機関との役割分担の検討	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.医療連携実務者会議の定期的継続実施 2.益田赤十字病院・地域連携担当者意見交換会で協議する 3.在宅医療・介護連携推進のための多職種研修会を開催計画	1.他病院との会議等で連携を深め役割分担について引き続き検討	
2-2 地域医療構想に応じた在宅医療機能の対応策の検討と推進	①在宅医療への支援・検討	a.調査に基づく在宅医療支援(必要性)の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.在宅医療への支援体制の必要性について検討する 2.常勤医による訪問診療機能・へき地診療機能の新設の検討 3.新しい訪問サービス体制について検討する 【統括部】 1.在宅療養後方支援病院の積極的な利用 2.在宅医との意見交換会により支援策を検討 3.退院後訪問や訪問看護の活用を検討	1.在宅医療への支援体制の検討 2.常勤医による訪問診療機能・へき地診療機能について検討 3.新しい訪問サービス体制の検討	
	②在宅医療機能の運営方針の検討と策定	a.在宅医療機能の運営方針の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.地域医療事業部(へき地医療を含む)の医師会事業部内での役割の明確化 ・1-②-gと同じ 【統括部】 1.在宅医との意見交換会で在宅代診医システムの意向を確認し検討 2.会員訪問実施	1.利用者の疾病の特性について調査し整理する 2.在宅医療機能の在り方について検討	

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	05	06	07	実施事業(計画)	実施事業(計画)	実施事業(計画)
	③在宅復帰できない患者・利用者への対応	a.療養病棟の形態変更の検討	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.人力的に困難であることはあるが、障害者施設等入院基本料算定の検討	1.療養病棟の在宅適応患者の退院支援の実施 2.在宅困難ケースの増加に伴う、訪問診療・訪問看護・介護サービスの提供について検討 3.現在の病棟機能から漏れる利用者の救済方法について検討 4.医療療養病棟の在り方の検討を行い、介護医療院・特殊疾患病棟との連携を図る 5.在宅サービスの周知と連携	
		b.次工程の明確化(PCFMの確立、患者・利用者をつなぐ・受け取る)	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.病床活用カンファレンス、医療・介護連携委員会で検討 2.統括部内で、病棟～老健～在宅間のスムーズな流れの検討	1.在宅医療への支援体制の検討 2.常勤医による訪問診療機能・へき地診療機能の新設について検討する 3.新しい訪問サービス体制について検討する	1.医療介護連携委員会等を活用し、センター内、居住地、状態の判断および本人の意思を尊重した療養先を検討する
3 医療・保健・福祉サービスの提供			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	05	06	07	実施事業(計画)	実施事業(計画)	実施事業(計画)
3-1 益田圏域の医療ニーズへの対応	①5疾病への対応	a.がん：緩和ケアの提供体制の検討	⇒	⇒	⇒		1.緩和ケア提供体制の検討・確立	
		b.脳卒中：高齢者特有の脳疾患への対応	⇒	⇒	⇒		1.神経内科医師確保の検討	
		c.急性心筋梗塞：高齢者特有の循環器疾患への対応	⇒	⇒	⇒		1.循環器医師との協働	
		d.糖尿病：糖尿病患者を支援できる体制の確立	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.糖尿病支援ネットワーク事業を推進する・事務局として対応する	1.糖尿病支援ネットワーク事業を推進する 2.糖尿病療養指導士の資格取得・継続支援 3.院内に在籍している療養指導士等の活用 4.のぞみ会の活性化 5.腎臓内科との連携	
		e.精神疾患：認知症患者の療養環境の充実	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.医師会として認知症へ対応できる体制について検討する(認知症サポート医の普及)	1.松ヶ丘病院との連携	
	②6事業への対応	a.救急医療	⇒	⇒	⇒		1.圏域救急病院と役割を分担し圏域の救急医療の一翼を担う	
		b.災害医療 大規模事故・災害援助体制の確立と支援体制の整備	⇒	⇒	⇒	(6-①と同じ)	1.医師会及び圏域救急病院と協力し、圏域の災害医療の一翼を担う	
		c.へき地医療 へき地医療を維持するための体制の検討	⇒	⇒	⇒	(1-②-hと同じ)	1.地域医療拠点病院として、へき地巡回診療等の事業を継続する 2.診療応援体制の検討(匹見・美都)	
		d.周産期医療	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.益田市医師会として周産期医療の協力をする。		
		e.小児医療 圏域での小児医療の提供への協力	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.小児科専門医療機関減少への対応 2.医師不足の中での学校検診等の維持 3.ワクチン接種等への協力		

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)
			05	06	07			
		f.新興感染症拡大時の医療 感染症発生時の圏域での体制づくり	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.医師会としての対応 ①診療・発熱医療機関としての登録 ②ワクチン接種事業への参加 ③新興感染症の周知活動への協力 ④圏域カンファレンスや訓練の実施	1.益田市医師会員、益田赤十字病院・松ヶ丘 病院等との連携の継続 2.感染対策向上加算1取得	
	③医師会独自事業について	a.休日応急診療所の運営について	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.益田市と協働して休日応急診療所の運営方法について検討していく		
		b.肺炎等増加する疾病への対応の確立	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.増加する肺炎等へのより適切な対応について 検討する 2.誤嚥性肺炎等、歯科医師会、歯科衛生士 会、言語聴覚士等での協働 3.摂食嚥下障害看護認定看護師の配置・育成 を検討する 4.呼吸器内科との連携	1.呼吸器内科医師の確保	
3-2 益田圏域の保健 等ニーズへの対応	①圏域の保健医療について	a.予防の推進活動(予防の重要性の周知)	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.健康予防の情報提供、健康相談の充実 2.普及啓発活動の実施	1.あらゆる機会を通じ、予防の重要性等を周知	
		b.圏域での検診・人間ドック実施数の拡大	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.益田市と協働して圏域にある健診機関の把握 と紹介を行う	1.益田圏域での中心的な役割を担う	
		c.ワクチン接種等予防事業の推進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.益田市の行う各種ワクチン接種事業への参加		
	②保健予防センターについて	a.保健予防センターの活用	⇒	⇒	⇒		1.人間ドック受け入れ枠の拡大 2.休日健診の実施検討 3.健康予防の情報提供、健康相談の充実 4.普及啓発活動の実施 5.特定保健指導のニーズを調査し、必要な体制 整備の実施	
		③特定健診・保健指導の 推進	a.圏域での特定健診の把握し、保健指導につな げる	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.益田市と協働して特定保健指導のニーズを調 査し、必要な体制を整備する	
	b.実施医療機関への支援		⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.特定健診のデータ処理を医師会が取りまとめ (外部委託)をし、実施医療機関の負担を 軽減する		
3-3 益田圏域の介護 等ニーズへの対応	①介護ニーズの検証と持 続可能な取り組み	a.入所系サービス	⇒	⇒	⇒		1.介護医療院の活用	1.ターミナルケアを実施するための教育等の体制 を整備する。 2.認知症の対応力を強化するための取り組み ・研修会等へ積極的に参加する。 ・認知症ケア委員会の強化を図り、多職種の チームによる活動を推進する。 3.利用者ニーズに対応した利用計画の検討 4.居宅や退所先のデータ収集・分析を行う
		b.通所系サービス	⇒	⇒	⇒			1.利用者に合わせたプランを提供するために地域 のニーズを調査する。 2.通所型Cの対象者の分析をし、運営方法等に

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)
			05	06	07			
								<p>ついて検討する。</p> <p>3.入所担当療法士と情報共有・意見交換し、効率的なリハビリを継続的に提供する。</p> <p>4.地域の居宅サービスについての理解を深める。</p>
		c.訪問系サービス	⇒	⇒	⇒		<p>1.訪問リハニーズの掘り起こし、連携強化、件数の拡大</p> <p>2.人材育成</p> <p>3.他施設の状況や当事業所に関するデータ分析等により、益田市における訪問リハの在り方を明確にする</p>	1.退所後の訪問リハビリの推進。
		d.居宅系サービス	⇒	⇒	⇒			1.虐待防止対策、災害対策、感染対策を講じて、サービス提供体制を維持する
4 利用者サービスの向上と創出			計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)
推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	05	06	07			
4-1 利用者サービスの向上	①安全な医療環境の整備	a.安全管理者の養成	⇒	⇒	⇒		<p>1.看護部以外の医師、診療部でも医療安全管理者の養成を行う。事務部は安全対策担当者の養成を行う。</p> <p>2.安全対策担当者の介護医療院への配置</p>	<p>1.計画的に安全管理者を養成する</p> <p>2.身体拘束適正化を推進する人材の育成</p>
		b.医療事故発生時の対応体制の確立	⇒	⇒	⇒		1.法律等の施行に合わせた体制を検討	
		c.医療機器の安全の確保	⇒	⇒	⇒		1.臨床工学科の体制確立	
		d.院内感染対策の充実に向けた取組	⇒	⇒	⇒		1.必要な環境の整備の継続・体制の強化	
		e.院内感染発生時の対応の強化	⇒	⇒	⇒		<p>1.ICT 活動の充実</p> <p>2.保健所との連携を強化する</p> <p>3.感染対策向上加算1取得</p> <p>4.益田赤十字病院・松ヶ丘病院との連携の継続</p> <p>5.アウトブレイク時の担当者支援体制の構築</p> <p>6.後進の育成</p> <p>7.介護医療院への感染対策担当者の配置</p>	<p>1.計画的な研修・教育の実施</p> <p>2.全事業所において BCP を整備する</p>
		f.安全な薬剤管理の充実	⇒	⇒	⇒		<p>1.薬剤科の体制確立</p> <p>2.薬剤の安全性の向上</p> <p>3.薬剤管理サマリー等による保険薬局との連携</p> <p>4.介護医療院の薬剤管理体制</p>	1.薬剤師との連携・協働の強化
		g.高齢者の増加に対応できる看護体制や療養環境の整備充実	⇒	⇒	⇒		<p>1.医療・介護 DX 推進チームの立ち上げ</p> <p>2.医療・介護 DX への検討・導入</p>	1.ICT を活用した療養環境改善の推進
	②サービスの質向上	a.診療の質を上げるための部門の検討	⇒	⇒	⇒		<p>1.皮膚・排泄ケア及び摂食・嚥下障害看護認定看護師の育成</p> <p>2.排尿自立指導料取得のための専門看護師及び、排尿ケアに係るチーム、専任看護師の養成</p>	
		b.診療の質を上げるための「働き方改革」の推進	⇒	⇒	⇒		<p>1.一人一人の生産性の向上と向上のための教育・支援体制の構築と機会の提供</p> <p>2.医療・介護 DX への検討・導入</p>	

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)
			05	06	07			
		c.既存部署毎に診療・介護の質を上げるための 対応策の実施	⇒	⇒	⇒	<p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短期ビジョンの確実な実行 (課題・問題点の明確化及び共有、改善) <p>【診療部】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.人材確保、人材育成、スキルアップ支援 ・職能団体等の育成教育研修等の活用を図る 2.タスクシフト・シェアの推進・実行 <p>①薬剤科</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)次世代育成、管理職採用 2)病棟薬剤師配置の推進 3)病院薬剤師会認定薬剤師の育成 4)がん、緩和、感染、栄養、腎臓病、糖尿病、精神、老年薬学等、各種専門性を有した薬剤師の育成 5) バイオ後続品導入初期加算指導料算定への連携 <p>②放射線技術科</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)次世代育成、管理職の育成 2)計画的な機器整備と補助金の確保 <p>③リハビリテーション科</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)看護部との協働(主に病棟) 2)センター内におけるリハ機能の明確化と啓発 3)365 日リハ提供体制の検討(一般病棟、地域包括ケア病棟) 4)地域ケア個別会議や介護予防事業等への連携体制の確立 <p>④臨床検査科</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)看護部との協働(主に外来) 2)次世代育成、管理職育成 3)内視鏡室、エコー体制の確立 4)日本臨床衛生検査技師会 精度保証施設認証制度への検討 <p>⑤臨床工学科</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)透析室・看護部との協働 2)体制の確立 3)内視鏡室との連携、他診療部との連携 <p>⑥栄養科</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)栄養管理の充実・質向上 2)看護部との協働 3)管理栄養士の病棟配置の検討と業務調査 <p>⑦医療介護相談室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者・利用者の流れ(PCFM)の把握と構築 (Patient Client Flow Management) 	<ol style="list-style-type: none"> 1.看介護 <ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止のための取り組み ・身体拘束適正化のための取り組み ・介護技能実習生への指導を通して、サービスの質向上を図る ・タスクシフトを推進し、専門性を発揮する。(施設ケアマネ配置の検討、業務委託) ・サービス提供体制の統一(ユニット制の廃止等) ・外国人技能実習生への指導・支援の充実 2.通所リハビリテーション <ul style="list-style-type: none"> ・(家族との)連絡帳を活用し、業務改善を図る ・職員の改善意識の醸成 3.リハビリテーション科 <ul style="list-style-type: none"> ・サービスごとのグループ会議において、サービス内容の検討をする ・認知症に関する勉強会の開催 ・データ集積・分析を継続し、リハビリ計画にフィードバックする 4.相談員 <ul style="list-style-type: none"> ・相談業務能力の底上げのための取り組み ・ACPを意識した利用者ニーズの把握の検討 5.栄養科 <ul style="list-style-type: none"> ・栄養ケアの充実に向けて、栄養マネジメント強化加算の算定開始を目指す <p>【訪問看護】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.24時間対応の復活に向けた体制づくり。 2.チームケア制の導入の検討 <p>【居宅介護支援事業所】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.事例検討会の研修会に参加し、ケアマネジメント技術の向上を図る 2.オンラインの活用等により積極的に研修会へ参加し、伝達研修を実施する 	

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)
			05	06	07			
						<p>【看護部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護部体制が大きく変わり、新たな体制の強化と管理職への育成と支援の実施 1.看護・介護職員の確保と定着 ・新卒3年以内の退職の低減 2.教育体制の見直し 3.人材育成、スキルアップの支援 4.次世代管理職候補の選定と育成 5.師長・主任の認定看護管理者教育課程への計画的な参加(毎年度、2名程度参加) 6.管理職へ理念の浸透と経営意識形成と醸成 7.認定・特定・医療安全等への人選と育成支援 8.看護部の働き方改革 ・看護部事務クレークの配置 ・看護部内タスクシフト・シェアの検討 ・他部署とのタスクシフト・シェアの推進 ・医療・介護DXの導入・推進 9.教育の支援体制 ・各自で学べるeラーニングを継続し、コロナ禍でも学習機会の提供、また自己学習や院内研修にも役立てる(看護・介護職員対象) <p>①外来</p> <ul style="list-style-type: none"> 1)内視鏡検査技師の育成・協働 2)病棟応援体制の構築 ・入院時、病棟応援看護師業務の確立 3)手術室との協働 <p>②手術室</p> <ul style="list-style-type: none"> 1)病棟・外来応援体制の検討 ・体制変更を検討(外来との協働) ・日当直時、手術対応患者来院の際の応援体制の検討 <p>③保健予防センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 1)保健予防センターの機能促進 2)健診枠の拡充 ・人間ドック受入れ人数の増加 ・特定保健指導実施(管理栄養士協働体制の構築) ・疾病予防のための活動の推進(休日乳がん検診、休日検診、事業所健診、特定健診などの実施) ・健康教室の開催(メンタルヘルス対策への外部活動) ・ストレスチェック事業 ・心の相談業務など ・職員の健康保持増進についての支援 		

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)
			05	06	07			
						④医療安全対策室 1)安全な医療・介護の提供 ・リスクマネジメントにおける職員教育 ・多職種協働、患者参加の推進 ・職場環境の整備 ・安全な医療機器の取り扱い ・部門間の協力、情報共有 ・改善活動の推進 ・転倒・転落防止対策 ・医療事故対応 ⑤感染対策室 1)感染対策環境の充実 2)ICTチームの強化 3)感染管理認定看護師の育成 ※病棟に関しては7-2・3・4にて 【事務部】 1.人材育成、スキルアップの支援 ・スキルアップのための資格取得への支援 ・医療・介護DXへの対応 2.事務職員として理念の浸透と経営意識の形成 3.短期ビジョン実現のために「自ら考え行動する」 4.「変化・変革」に対応するイノベーターシップ(マネジメント+リーダーシップ)の醸成 5.医療・介護現場からのタスクシフト・タスクシェアの検討及び実践 6.事務職員としての必要なスキルの把握と周知 7.令和6年度医療マネジメント学会事務局として準備		
③利用しやすい施設づくり (広報)	a.広報活動体制の見直し	⇒ ⇒ ⇒	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.効率的でより効果のある広報活動が展開できる体制について検討し必要な見直しを行う	1.効率的でより効果のある広報活動が展開できる体制について検討し必要な見直しを行う 2.魅力ある誌面作りについて検討 3.多くの媒体を利用した広報対策を検討し実施	
	b.情報誌(双葉他)の魅力化	⇒ ⇒ ⇒	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.魅力ある誌面作りについて検討する 【統括部】 1.連携室だよりの発行と充実		

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)	
			05	06	07				
		d.地域の医療従事者に対する研修の実施	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.医療連携推進コーディネーター事業（R4年度から新規開始予定）、圏域課題解決推進事業、在宅医療介護連携推進事業を活用した研修会の開催、介護事業所での出前研修の開催 2.在宅医療・介護連携推進のための、多職種研修会の企画・開催	1.会員医療機関、介護施設他の従事者に対して医師会研修会の開放を行う 2.医師会、薬剤師会等との共同の研修会開催 3.病院・くにさき苑が研修受入機関となり研修生を受け入れる 4.島根大学医学部附属病院スキルアップセンターとの協働		
		e.かかりつけ医の支援対策	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.在宅療養後方支援病院の積極的な利用 2.在宅医との意見交換会で支援策を検討 3.退院後訪問や訪問看護の活用を検討	1.在宅療養後方支援病院として、かかりつけ医の診療支援 2.対応困難な診療への支援 3.休診・休日・夜間の支援体制の検討 4.医師会員のニーズに対応した体制の検討		
		f.医師少数地区等を支援対策	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.へき地での医療拠点確保の検討 ・1-②-gと同じ 【統括部】 1.医師の意見交換会で検討	1.地域医療拠点病院として、へき地巡回診療等の事業を継続する		
	③臨床検査センターの安定した運用	a.臨床検査センターの運用データの収集	⇒	⇒	⇒		1.開設以降の各種データを収集・蓄積する		
		b.臨床検査センターの運用について会員意見聴取	⇒	⇒	⇒		1.医師会員訪問に同行し、意見聴取を行う		
		c.臨床検査センターの運用方法の検討	⇒	⇒	⇒		1.収集したデータ・意見等を元に運用方法の検討 2.臨床検査センター独自の検体取扱件数増加への取り組み 3.保健予防センター（企業検診等）との協働 4.益田市スマートヘルスケア事業への協力		
	5-2 医師会としての 会員支援の検討	①開業・廃業・継承時の支援	a.支援方法の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.山陰合同銀行とタイアップした開業・継続・廃業サポートプログラム（仮称）作成と運用		
		②会員医療事故への対応	a.医療事故支援体制の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.医療事故研修会等への参加を促進する 2.医療事故相談体制について検討する		
		③診療所経営に関する支援	a.診療報酬等の算定支援	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.研修会等の実施		
④会員医師の生涯教育の推進と技術の向上		a.医療技術の生涯教育への支援	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.学術講演会及び病院主催の技術研修会の開催等の実施 2.マニュアル化を進める			
6 地域社会への貢献			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部	
推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	05	06	07	実施事業(計画)	実施事業(計画)	実施事業(計画)	
6-1	①大規模事故・災害援助体制の確立と支援体制の整備	a.災害時の益田市医師会の役割の確定・益田地域災害医療対策会議への参加	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.引き続き災害時の支援体制について協議・検討する	1.益田市医師会、圏域救急病院と役割を分担し圏域の災害医療の一翼を担う		

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)
			05	06	07			
大規模事故・災害時の援助体制の整備充実		b.大規模事故・災害時の連絡体制の確立と通信方法の確保	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.行政等関係機関を含めて連絡網等の整備と周知を行う	1.益田市医師会、圏域救急病院と役割を分担し圏域の災害医療の一翼を担う	
		c.大規模事故・災害対応に関する規程類の作成	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.対応に当たって必要な規程について検討し、整備する 2.BCP(危機管理における事業継続計画)の検討	1.本部と協働してBCP(危機管理における事業継続計画)の作成。今後、各部署単位での検討に移行する。次段階として感染症流行時の事業継続計画の作成	1.全事業所においてBCPを整備する
		d.行政等が行う災害訓練への積極的な参加と、医師会独自の訓練の充実	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.益田市医師会救護班の役割分担	1.益田市医師会、圏域救急病院と役割を分担し圏域の災害医療の一翼を担う	
6-2 労働者の健康管理への支援	①認定産業医のスキルアップ	a.認定産業医のための研修会の開催	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.産業医部会事業として研修会等の開催に努める		
	②地域産業保健センターと協働した健康管理	a.地域産業保健センターとの連携・協働	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.従業員50人未満の事業所の健康管理を中心に行う		
6-3 園児・学童の健康管理への支援	①健康管理支援体制の強化	a.教育委員会及び学校等との連携強化	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.学校医部会・園医部会の活動を通じて連携の強化に努める 2.学校医・園医の担当数の適正化 3.益田市要保護児童対策地域協議会の普及活動に協力する		
		b.養護教員等の医療知識向上の協力	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.学校医部会・園医部会の活動を通じて協力する		
6-4 地域への啓発活動	①医師会主催のイベント・講演会等の見直しと活性化	a.医師会まつりの活性化	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.医師会まつりの活性化に向け検討結果を具体化する		
		b.その他イベント・講演会等について、マンネリ化の回避	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.イベント・講演会等の検証と先進事例調査等に基づき見直しを行う		
6-5 地域社会貢献の実施	①可能な地域社会貢献の検討と促進	a.現体制で何ができるのか検討と社会貢献の推進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.医療センターが行う社会貢献について検討する 2.益田市民が行っている社会貢献への参加		1.新たな地域貢献活動の検討
	②会員・職員の地域活動に対する支援	a.地域社会活動への会員の参加促進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.情報提供等を行い参加の促進に努める 2.地域住民の参加でき、地域での暮らしを支援する企画を検討する		
		b.地域社会活動への職員の参加促進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.会議等を通じ啓発を行い、参加の促進に努める		

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)
			05	06	07			
7-2 病院 一般病棟の安定した運営	①効率的な一般病棟の運用	a.一般病棟の在り方の明確化と運営方針	⇒	⇒	⇒		<ul style="list-style-type: none"> 1.短期ビジョンの確実な実行 2.医師会員との情報交換の充実 3.4階病棟の在り方とPCFMの確立 4.病床活用カンファレンスを有効利用し、入院患者の長期化を防ぐ 5.近隣病院や介護事業所との連携強化による対象者の転院の促進 6.次期診療報酬改定へ向けて、急性期一般入院基本料の維持 7.地域包括ケア病棟、療養病棟、回復期リハ等の入院料維持のための迅速な病棟間連携 8.医師会員、介護事業所との連携による在宅復帰等への機能強化 9.常に次期改定を視野に入れて、情報を蓄積し対応策を検討 	
7-3 病院 地域包括ケア病棟の安定した運営	①効率的な地域包括ケア病棟の運用	a.効率的な地域包括ケア病棟の運用	⇒	⇒	⇒		<ul style="list-style-type: none"> 1.短期ビジョンの確実な実行 2.医師会員との情報交換の充実 3.地域包括ケア病棟の在り方とPCFMの確立 4.病院連携会議の継続など、連携強化 5.病棟活用カンファレンスの活用し、入院状況や入院取扱いの偏在化解消のため、ベッドコントロールの一元化及び標準化を図る 6.自宅等からの地域包括ケア病棟への受入 7.近隣病院や介護事業所との連携強化による対象者の確保 8.患者確保と迅速な病棟・施設間連携 9.リハ目的の入院患者数の増加 10.地域包括ケア病棟の更なる活用、RE-Gait入院の受入 11.医師会員、介護事業所との連携による在宅復帰等への機能強化 12.常に次期改定を視野に入れて、情報を蓄積し対応策を検討する 	
7-4 病院 特定病棟(回復期リハ・特殊疾患・医療療養病棟)の安定した運営	①効率的な特定病棟の運用	a.各特定病棟の在り方の明確化と運営方針	⇒	⇒	⇒		<ul style="list-style-type: none"> 1.短期ビジョンの確実な実行 2.医師会員との情報交換の充実 3.患者・利用者の流れ(PCFM)の確立 4.病院連携会議の継続など、連携の強化 5.病棟活用カンファレンスの活用し、入院状況や入院取扱いの偏在化解消のため、ベッドコントロールの一元化及び標準化を図る 6.患者確保と迅速な病棟・施設間連携 7.介護事業所等との連携強化による在宅復帰の確保 8.常に次期改定を視野に入れて、情報を蓄積し対応策を検討する 	

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)
			05	06	07			
	②回復リハ病棟の効率的な運用	a.回復期リハ病棟に関する情報収集と分析、目指す方向	⇒	⇒	⇒		1.回復期リハ病棟の在り方とPCFMの確立 2.治療成績(FIM)の向上検討・対策 3.回復期リハ病棟入院基本料1の維持 4.早期の受け入れ、1日に2名の入院受入 5.明確な病棟目標の明示と目標達成への取組 6.4階病棟から回復期リハ病棟への流れの促進 7.回復期リハ病棟からくにさき苑(通所リハ・短期入所)への流れの促進 8.患者獲得への分析・検討を行う 9.地域住民や他の医療機関に啓発・営業活動を行う 10.廃用症候群などの入院受け入れ体制の確立 11.入院までの期間の短縮 12.平均入院患者数増加のための検討・取組	
	③特殊疾患病棟の効率的な運用	a.特殊疾患病棟に関する情報収集と分析と目指す方向性	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.紹介患者のスムーズな受け入れの支援 2.周辺施設、特に日赤との連携を進める 3.病床活用カンファレンスでの意見の集約・調整 4.益田日赤での出張転院相談継続実施(コロナの状況を見て実施予定)	1.特殊疾患病棟の在り方とPCFMの確立 2.入院対象者の確保と対象外のバランス確保 3.入院料、加算対象者の受け入れ強化 4.医療・看護対応力の強化 5.明確な病棟目標の明示と目標達成への取り組み	
	④医療療養病棟の効率的な運用	a.医療療養病棟に関する情報収集と分析と目指す方向性	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.紹介患者のスムーズな受け入れの支援 2.周辺施設、特に日赤との連携を進める 3.病床活用カンファレンスでの意見の集約・調整 4.益田日赤での出張転院相談継続実施(コロナの状況を見て実施予定)	1.医療療養病棟の在り方とPCFMの確立 2.療養病棟入院基本料1の維持 3.在宅復帰機能強化加算の取得・年間7名の一般・包括からの入院受け入れ、在宅退院(介護医療院可能) 4.出来高算定項目への対応 5.医療・看護対応力の強化 6.明確な病棟目標の明示と目標達成への取り組み 7.入院透析の受け入れ 8.リハが必要な疾患が発症して30日以内の受け入れ 9.施設・在宅からの軽度の増悪の受け入れ 10.医療療養病棟の在り方についての理解 11.医療療養病棟の長期患者の介護医療院への移動により、介護医療院において加算	
	⑦他組織(介護保険サ-ビス)との連携強化による増収	a.退院後の調整強化	⇒	⇒	⇒		1.地域医療介護連携統括部と共働し、医師会内介護事業所との連携方法を構築 2.患者・利用者の流れ(PCFM)の確立 3.在宅患者の機能維持・介護維持への取り組み	
		b.退院調整関係の診療報酬の増収対策の検討	⇒	⇒	⇒		1.地域医療介護連携統括部との連携・共働し増収対策について検討する	
		c.会員医療機関連携による診療報酬増収の対策の検討	⇒	⇒	⇒		1.会員と連携することで算定できる加算について検討する(在宅療養後方支援病院、退院時共同指導等) 2.会員医療機関が、在宅療養支援診療所を取得できる支援体制の検討を行う	

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)
			05	06	07			
7-5 病院 介護医療院の安定した運営	①効率的な介護医療院の運用	a.介護医療院の在り方の明確化と運営方針	⇒	⇒	⇒		1.介護医療院の在り方とPCFMの確立 2.介護医療院(=在宅)への流れの構築 3.介護医療院の機能・メリットを生かした運営 4.LIFEへのさらなる対応 5.病床活用カンファレンスの活用し、入院状況や入院取扱いの偏在化解消のため、ベッドコントロールの一元化及び標準化を図る 6.介護医療院における短期入所の受入検討 7.医療療養病棟の長期患者の介護医療院への移動により、介護医療院において加算 8.在宅復帰支援加算取得の検討 9.近隣病院や介護事業所との連携強化による対象者の確保 10.セラピストの介入、排泄ケア加算等の検討	
7-6 介護老人保健施設の安定した経営	①入所系サービスの安定経営	a.利用者の安定的確保と増収	⇒	⇒	⇒			1.地域連携室・医療相談室との連携を強化し利用対象者の選定や調整を行う 2.病院からの利用者の流れの促進 3.目標数値を意識したベッドコントロールの実施 4.多様化する利用者ニーズに対応できるための相談技術・調整能力の向上を図る 5.超強化型維持のため、在宅復帰率・入所前後訪問指導割合・退所前後訪問指導割合のコントロールに努める 6.入所と通所、それぞれの相談員業務を整理し、業務の効率化を図る 7.認知症短期集中リハビリ加算の算定 8.入所受入ルールの見直し
		b.短期入所サービスの適切な運用	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.適正な数の設定に向けて、医療センター内の調整		1.入所を優先しながら、10人程度の稼働を維持する 2.入退所前後の空床を減らすための対策の検討
	②通所リハビリテーションの安定経営	a.利用率の向上と増収	⇒	⇒	⇒			1.認知症短期集中リハビリ加算の算定の検討 2.通所型Cの検討 3.利用者獲得のため、パンフレットを作成する 4.退院後の利用を促進するための方法を検討する 5.居宅介護支援事業所への働きかけを行う 6.利用開始時から適切な加算を算定できるための取り組みを行う 7.利用者ごとに適切な加算を適宜検討する 8.通所検討会を継続し運営状況を確認する
7-7 居宅介護支援事業所の安定した経営	①効率的な経営基盤の確立	a.利用者の安定的確保	⇒	⇒	⇒			1.新規利用者の積極的な受入れ
		b.業務の効率化	⇒	⇒	⇒			1.業務用パソコン内の書類の整理
7-8	①効率的な経営基盤の確立	a.病院、施設との連携強化	⇒	⇒	⇒			1.サービス開始後の利用者の状況を紹介もとの医療機関や施設に情報提供する

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)
			05	06	07			
訪問看護ステーション等の安定した経営		b.独自のサービスの立案・推進	x	⇒	⇒			
		c.収益の確保	⇒	⇒				1.2 4 時間対応を再開するための体制整備
7-9 ホームヘルプ事業所の安定した経営	①休止の解除	a.人員の確保	⇒	⇒	⇒			1.事業再開に向けた体制整備。
7-10 訪問リハビリテーションの安定した経営	②訪問リハビリテーションの利用者確保	a.効率的な運営のための具体策立案	⇒	⇒	⇒		1.くにさき苑入所利用者への広報活動を実施 2.医療センター内での潜在利用者の掘り起し	1.安定的に対象者を確保するための取り組み
		b.地域のニーズに対応するための具体策立案	⇒	⇒	⇒		1.利用者の需要調査を継続実施する 2.圏域内の他事業所の事業を把握する 3.リハ診察困難者への対応	1.判定会で対象者を検討し、利用者確保する
	③収益の増収方法の検討	a.介護報酬等収益の確保対策	⇒	⇒	⇒		1.診療報酬改定の際の算定できる加算等の研究と算定方法の検討 2.実施件数や実施期間などの分析と検討体制の確立 3.訪問リハの手引きの修正体制の確立 4.センター内および他機関(開業医、他の医療機関、居宅介護支援事業所、行政など)への定期的な啓発活動を行う	1.リハビリテーションマネジメント加算B(□)の算定体制の維持 2.移行支援加算算定体制の維持
7-11 地域包括支援センターの安定経営	①事業実施に必要な受託費用の確保	a.益田市との予算協議の継続	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.適正な予算確保に向けた益田市と協議を継続する		
		②東部地域包括支援事業の安定運営	a.益田市との連携を図りながら適切に運営する	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.益田市との協力体制の強化 ・感染症等での人員体制不足時 ・配置のない専門職の分野 2.連絡会議(市と包括での定期開催)	
	b.地域組織・関係機関との更なる連携の推進		⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.地域や関係機関へ体制の周知とネットワーク構築 2.地域ケア会議の開催		
	c.地域住民への周知		⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.益田市と協力し、体制の周知を図る 2.地域に出向き、住民へ相談窓口や介護予防の啓発活動実施		
③東部指定介護予防支援事業の安定運営	a.安定運営	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.市のマニュアルに沿って、適切な介護予防支援・介護予防マネジメント支援を行う 2.確実な保険請求体制の構築			

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)	
			05	06	07				
	④中部地域包括支援事業の安定運営	b.ケアプラン作成の効率化	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.市の提示するマニュアルに即したケアプラン作成の標準化 2.全体最適を視野とした業務効率化と実績件数の増加			
		c.関係機関との連携強化	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.委託事業所、サービス事業所等関係機関との情報交流や連絡連携体制の維持			
		a.益田市との連携を図りながら適切に運営する	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.益田市との協力体制の強化 ・感染症等での人員体制不足時 ・配置のない専門職の分野 2.連絡会議(市と包括での定期開催) 3.センターの好立地を活かし益田市各課との連携をより強化する			
		b.地域・関係機関との連携構築	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.地域や関係機関へ体制の周知とネットワーク構築 2.関係機関、地域組織等への訪問実施(健康増進課と連携)			
		c.地域住民への周知	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.益田市と協力し、体制の周知を図る 2.地域に出向き、住民へ相談窓口や介護予防の啓発活動実施			
	⑤中部指定介護予防支援事業の安定運営	a.安定運営	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.市のマニュアルに沿って、適切な介護予防支援・介護予防マネジメント支援を行う 2.確実な保険請求体制の構築			
		b.ケアプラン作成の効率化	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.市の提示するマニュアルに即したケアプラン作成の標準化 2.全体最適を視野とした業務効率化と適切な実績件数の増加			
		c.関係機関との連携強化	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.委託事業所、サービス事業所等関係機関との情報交流や連絡連携体制の継続			
	7-12 へき地医療施設の安定経営	①益田市国民健康保険医療施設の安定経営	a.へき地医療事業部の設置(美都診療所事業部からの変更)	⇒			【事業本部】 1.新たな事業部の運営方針決定とチェック体制の確立 2.新たな事業部への人員の確保 3.匹見道川・澄川診療所の指定管理としての受入準備		

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	05	06	07	実施事業(計画)	実施事業(計画)	実施事業(計画)
		b.美都診療所の継続的な運営を行う。	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.地域ニーズに基づく安定した経営を行う 2.指定管理者として益田市と共同で運営を行う。・指定管理更新(令和8年度) 3.職員の確保		
		c.匹見道川診療所の継続的な運営を行う。		⇒	⇒			
		d.匹見澄川診療所の継続的な運営を行う。		⇒	⇒			
8 人材の確保・育成と働きやすい職場づくり			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	05	06	07	実施事業(計画)	実施事業(計画)	実施事業(計画)
8-1 計画的な人材の確保と育成	① 医師会職員への教育体制の充実	a.研修体制の整備と研修機能の充実	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.全体の教育体制を検証しキャリアプラン形成への制度化及び支援	1.全体の教育体制を検証しキャリアプラン形成への制度化及び支援	
		b.新専門医制度への対応	⇒	⇒	⇒		1.制度・先進事例等の調査 2.新専門医制度への対応の検討 3.専門医育成計画の策定	
		c.研修医受け入れ体制の検討	⇒	⇒	⇒		1.各種学会の指定施設となるために各基幹大学や病院との連携に努める 2.益田赤十字病院とも協議・協働する	
		d.認定看護師、特定行為のできる看護師等の資格取得の促進	⇒	⇒	⇒		1.意欲と適正を見極め認定看護師、特定行為のできる看護師等の資格取得を促進する	
		e.管理職、管理職候補者研修の充実	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.各職種にあった管理職研修への参加を促進する 2.管理職の教育制度を構築する 3.計画的な研修制度を整備し、定期的な研修を実施する	1.各職種にあった管理職研修への参加を促進 2.職能団体が実施する研修に参加	
		f.キャリア形成の支援	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.自己啓発に取り組む環境の醸成のため、経費補助や休暇制度等の導入を検討する 2.機能強化・安定運営等に必要研修受講・資格取得の推進	1.各職種のステージにあった研修への参加を促進 2.職能団体が実施する研修に参加	
		g.職員教育体制の構築	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.職業人として必要な諸制度(労働基準法、労働安全衛生法、人権、ハラスメント他)についての教育方法について検討し制度化する 2.職種別の教育方法について検討し制度化する	1.教育体制の一本化	

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)	
			05	06	07				
②医師の求人活動	a.医師確保対策に努める		⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.病院事業部と連携し確保に努める	1.勤務病院選定理由等調査・分析 2.医師確保条件整備の検討 3.島根県(医師確保対策室)への働きかけと連携強化 4.島根大学等への働きかけと連携強化 5.卒後教育・研修プログラムの検討 6.学会認定施設の取得を目指す 7.医師の働き方改革への対応(R6.4月から) 9.繋がり継続		
			⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.医師の働き方改革への対応 ・チーム医療の推進(ワンチーム(多職種連携)での取り組み強化) ・タスクシフト・タスクシェアの検討・推進 2.給与制度改革で調整した新医師給与・諸条件を提示する	1.他病院等の状況について調査・分析 2.就職希望医師の雇用形態別処遇の検討 3.当院にあった雇用形態のあり方を検討する 4.医師の働き方改革への対応(R6.4月から)		
			⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.合同会社ゲネプロとの連携維持 2.プログラムの継続とブラッシュアップ 3.合同会社ゲネプロとの契約内容について検討	1.ゲネプロとの連携を継続して行う 2.親父の背中プログラムの継続とブラッシュアップ 3.医師会病院が求める医師像の確立		
	③職員の安定確保	a.採用困難職種の採用促進		⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.採用促進のための新たな制度を検討していく 2.人材紹介会社を活用した即戦力確保を行う 3.既退職者等へのリクルート体制を整備しコンタクトを図る	1.不足する専門職の欠員を補うため、業務内容を整理し、補助員の雇用等を含めた定員の見直しを行う 2.潜在資格の掘り起し及びその職場を志向する職員の調査を行う 3.上記定員の見直しを基に、将来を見据えた5年程度の採用計画を立てる(機能再編・人口構造・職員の年齢構成等) 4.再就職チャレンジ講習会の検討	
				⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.WEB、SNS、パンフレット等を活用した情報発信を適宜実施 2.学校訪問、就職セミナーへの参加、ハローワーク等就職斡旋団体等を利用した採用活動を適宜実施 3.中高での企業参加イベント等に参加し、医療に目を向ける学生を増やす取り組みを継続する	1.中高生への働きかけ強化し、医療に興味を持つように、学生への早期に関係づくりを行っていく 2.実習生の受け入れ促進	
		c.給与制度の見直し		⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.人事給与制度改革により新たに設定した給与体系を新卒採用に効果的に活用する 2.人事給与制度の改定の検証とより効果のある制度へのブラッシュアップ 3.応募動向の変化を分析する		
⇒				⇒	⇒	【事業本部】 1.求める人材像の明確化するため、採用基準・方法等を再検証して、必要な人材の確保に努める			

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)
			05	06	07			
		e.多様な雇用の推進・検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.新たな高齢者継続雇用(再雇用制度)を実施調整する 2.高齢者継続雇用、障害者雇用、多様な働き方の受け皿として、業務支援課設置を目指し準備室を設置し体制検討を開始する 3.介護技能実習生受入れがもたらす効果の分析を行う	1.高齢者雇用、障害者雇用の推進 2.介護技能実習生の受入れ	
		f.研修生、実習生の受入れの整備	⇒	⇒	⇒		1.積極的な受け入れ	
		g.医学生・看護学生への就学支援	⇒	⇒	⇒		1.積極的な支援体制を検討	
8-2 働きやすい職場 環境づくり	①常勤医師の負担軽減	a.常勤医のニーズの把握し問題点の把握や課題を洗い出す	⇒	⇒	⇒		1.医師の働き方改革への対応(R6.4月から) 2.常勤医師ニーズ等調査を検討 3.医師同士が支え合う医局の構築 4.医局会・モーニングカンファレンス等の参加徹底	
		b.課題への対応策検討、実施する	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.勤務医・看護職員負担軽減策定委員会の活性化を図る 2.人事給与制度改革により、新しい医師給与体系による働き甲斐のある勤務条件を整えることで定着化を目指す	1.勤務医・看護職員負担軽減策定委員会の活性化を図る	
		c.常勤医の休日・夜間の支援体制の整備	⇒	⇒	⇒		1.休日・夜間の支援体制の充実について検討、併せて休日・平日当直についての協力要請を引き続き行う	
		d.タスクシフト・タスクシェアの推進	⇒	⇒	⇒		1.ワンチーム(多職種連携)での取り組み強化 2.多職種の病棟配置を実施	
	②職員が安心・安全・健全に働ける健康経営の推進	a.ハラスメント対策・体制の整備	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.ハラスメント(パワハラ・セクハラ・マタハラ等)防止の組織的な推進 2.ハラスメント行為に対する処分方針を明確にする 3.広く職員の声を拾い上げる仕組み(意見聴取方法や体制)について検討を行う		
		b.職員の健康保持・増進活動の充実	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.健康経営宣言に基づき、職員の健康管理活動(健診結果のフォローや禁煙サポート等)や余暇時間を利用した健康づくり活動(リハ機器の時間外利用・運動教室等)を推進する 2.心の健康づくり活動(ストレスチェック、カウンセリング、職場復帰プログラム等)を推進する		
		c.福利厚生活動の見直し	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.福利厚生制度の検証と見直しについて検討する 2.福利厚生活動について職員への周知を図る		

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)
			05	06	07			
		d.安心・安全・健全職場環境づくりの推進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.衛生委員会等の活動を通じて、継続して職場環境の保持・改善を目指す 2.双葉会事業等を通じ部署内外の人間関係構築を支援する 3.職員への情報発信に努める 4.医療センター内でのIT化による職員の業務負担を軽減する(1-1-③-cと同じ)	1.腰痛予防のための、介護ロボット導入等の検討	
	③女性が活躍できる職場環境づくりの推進	a.仕事と育児・介護の両立を支援する環境の整備	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.育児・介護関連休暇制度が取りやすい環境づくりを行う		
		b.職員保育所の安定運営	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.時間外利用等の改善を図り、利用しやすい保育所を目指す 2.感染対策を強化し職員の意識を高め安心・安全な保育を実施する		
		c.ワークライフバランスの推進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.時間外・休日労働の削減、有給休暇の取得促進(計画付与)などの徹底を図る		
	④多様な働き方に対応できる雇用制度の検討・整備	a.限定正職員(夜勤のできない看護職)、短時間正職員(フルタイムで働けない職員)等の雇用制度を検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.人事給与制度改革に基づき、働き続けられる制度の整備について検討する 2.新たな雇用制度の検証を行う		
		b.定年退職の延長、再雇用制度の見直し検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.定年時期の延長について検討する 2.新たに導入したコース別の新再雇用制度の検証を行う		
8-3 労働意欲の向上につながる人事、給与制度の検討	①人事・給与制度の全般的見直し	a.新人事給与制度の全体的な分析・検証・見直しを実施	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.人事給与制度の改定の検証とより効果のある制度へのブラッシュアップを行う		
	②人事異動方針に基づく適正な人事異動の実施と評価	a.人事異動方針に基づく人事異動の適宜実施	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.人事調整会議の活用 2.副主任制度の活用 3.役割等級制度の活用 4.新人事給与制度に伴う人事異動の実施		
	③人事考課制度の見直し	a.新人事考課制度の検証・見直し	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.新人事考課制度の改定の検証とより効果のある制度へのブラッシュアップを行う 2.管理職者の評価指標(成果連動等)の浸透 3.公正な評価のための考課者教育の実施		

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)	
			05	06	07				
8-4 島根県立石見 高等看護学院の 管理・運営	①島根県との緊密な連携	a.適切な情報交換と意見交換の実施	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.定期意見交換会(運営方針、事業計画、課題等)を実施する 2.県と連携して、県内の看護師確保対策に向けた取り組みを実施する 3.副学院長、看護教員等の任用のあり方について、常に県と課題を共有し、今後の任用方針について方針を定める 4.文科省「新たな学習支援制度」に継続して申請し、学生の経済的支援について県と緊密な連携を図る			
	②魅力ある教育カリキュラムの構築	a.新教育カリキュラムの実践	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.新カリキュラムについて、学生にわかりやすいシラバスを作成し、教育を実践する 2.地域と連携した魅力ある基礎看護教育活動について、魅力ある教育プログラムとなるよう、継続的に協議、調整を行い、改善を行う 3.新たな実習施設等と具体的な実習計画の調整を行い、臨地実習を実践する 4.カリキュラム改正による予算・経費を確保し、新カリキュラムへの円滑な移行に取り組む。(R6完成)			
	③入学定員の確保	a.看護師国家試験高合格率の維持		⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.年度当初に学院目標、教務部目標を設定し、目標達成に向けた学年教育計画を立案する 2.看護師国家試験に向け、計画的に模擬試験などの試験対策を順次実施する		
		b.広報活動の展開		⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.教職員、学生のブログを計画的に更新し、情報発信に努める 2.地元益田市と協力して、看護学生と地域の子どものふれあい交流事業を実施する 3.益田市・益田市教委員会と共催し、「小学生のための看護体験」を開催する 4.学院の広報の一環として、高等学校等からの学校見学・研修希望には可能な限り対応する 5.学院の各種行事について、マスコミに情報手教を行い、広報活動を活用する		
		c.学生募集活動の促進		⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.夏季休業の期間等を活用し、オープンキャンパス、学院見学会を実施する 2.業者等が実施するガイダンスに積極的に参加し、進学相談等に対応する 3.県内の高校を訪問し、進路指導担当教員への状況提供を行う 4.市町村(公立病院含む)との連携を密にし、地域推薦受験生の確保に努める		

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)
			05	06	07			
		d.更なる魅力アップの検討・実施	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.各種評価・アンケートを実施し、本学院の看護教育の検証を自ら実施する 2.協同学習ならびにシミュレーション教育の発展に取り組む 3.魅力ある入学試験のあり方について、継続的に検討を行う		
		e.4年制大学(養成所の4年制化を含む)の調査・検討	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.情報の収集を行う 2.島根県立大学との連携を図る 3.要望活動等の対応を行う		
	④必要な看護教員・講師の確保	a.関係機関との連携協働による看護教員の育成・確保	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.益田地域医療センター医師会病院と連携・協働し、看護教員の育成を行う 2.看護教員確保に向け、県立中央病院・益田赤十字病院・松ヶ丘病院との人事交流などの検討を行う 3.看護教員適任者の計画的育成について、検討を行う 4.看護教員資格取得への支援のための予算を確保する		
		b 講師の負担軽減策の検討と実施	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.必要に応じて、講師確保のため県及び関係機関等との意見交換を実施する 2.講師要望等を把握し、調整・再編を行う。 3.円滑な遠隔授業実施のため、安定した通信環境・実施体制を確保する 4.新教育カリキュラム改正に伴う講師担当教科目の整理・再編を検討する(R6完成)		
	⑤看護教員の教授力の向上	a 研修機会の増と、効果的な研修の実施	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.島根県教員継続研修の受講を推進する 2.教員指導力向上対策(研修会等)を実施する 3.各種教員研修への参加支援のための予算を確保する		
		b 臨床現場研修の実施	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.専任教員の臨床現場での指導力向上のため、短期臨床研修、長期臨床研修を計画的に実施する		
		c 自己研鑽への支援とモチベーションの向上推進	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.キャリア別達成目標を運用・実施する 2.自己研鑽支援休暇制度を設け、活用を促進する		
		d 学会等への積極的参加	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.学会活動の支援を行う 2.教員の教育研究の取り組みを促進する		

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)
			05	06	07			
	⑥学院環境の整備	a. 学び舎として快適環境の整備	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1. 学生の美化意識の高揚及び美化活動の推進を図る 2. 植栽等の適正管理を継続し、施設環境を維持する 3. 危機管理マニュアルに沿った必要な設備整備、運用を行う 4. 継続的な新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を実施する		
		b. 常時点検による適切な整備の実施	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1. 施設・備品設備のチェックを行い、必要な予算を要求する 2. 備品(教育備品を含む)の計画的更新計画の策定し、予算確保を要望する		
	⑦地域への貢献	a. 卒業生の県内就業率の向上	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1. 県内病院と学生の交流事業を実施し、学生の県内就職支援を行う 2. 卒業生のホームカミングイベント事業を実施し、卒業・就職後の状況を把握し、離職防止に取り組む 3. 市町村(公立病院含む)との連携を密にし、地域推薦受験生の確保に努める(②C4再掲)		
		b. 地域貢献策の検討・実施	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1. 学生のボランティア活動への参加を促進する 2. 学院イベントへの住民参加を促進する 3. 地域の看護師との合同研修会の企画・運営を行う 4. 体育館等、学院施設の地域への貸出を行う 5. 地域の人々との関わりを促進する「地域・看護論」を新カリキュラムの正課の学習として組み込み、地域を知るための看護学習に取り組む		
9 計画に基づく必要な施設等の整備充実			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	05	06	07	実施事業(計画)	実施事業(計画)	実施事業(計画)
9-1 医療センターの新たな施設整備	①医師会施設の計画的整備	a. 施設・設備の修繕・整備等計画書作成と実施	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1. 単年度予算計上のための建築設備工事計画の作成と実施	1. 定期的な修繕・設備更新の実施 2. 医療・介護 DX の推進・採用	
		b. 施設管理システムや体制の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1. 施設管理に関わる体制や手順等の見直しの検討 2. 空調システム運用の PDCA 管理の実施		
	②省エネ、CO2削減対策	a. 省エネ新技術の導入促進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1. 補助金活用に向けた情報収集の実施		
	③環境の美化	a. 総合的な環境美化対策の推進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1. 総合的な環境美化への継続的な取り組み 2. 委託業者との契約の見直し(2年度と同内容で再契約) 3. OB 会と連携し継続的に活動する		

令和5年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

推進課題	対応方針	実施計画(評価指標)	計画年度			事業本部・その他 実施事業(計画)	病院事業部 実施事業(計画)	くにさき苑事業部 実施事業(計画)
			05	06	07			
9-2 施設設備の老 朽化への対応	①昭和61年建設病院 本館棟の建て替え準備	a.本館棟建替資金の計画的積み立て	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.公益法人法に則り余剰資金の確保や資金の 計画的な積み立てを行う		
	②介護施設整備を実行	a.益田市事業の検討と要望	⇒	⇒	⇒			1.10カ年計画に基づいた整備の要望を益田市 に提出する